保健だより 保護者会号

八幡高校　保健室
令和６年(2024年) ７月16日発行
お子様と一緒にご覧ください

保護者等の皆さまへ
いつも学校保健活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

　今年度より保健だよりがClassiでご覧いただけるようになりました。お子様にはTeamsで配信しています。今まで通り本校ホームページにも掲載しています。
　今回はご案内を兼ねて保護者会での配付も行いますが、５月から印刷配付は取りやめていますことお知りおきください。

　保健に関する情報や学校からお知らせしたいことなどをまとめ、原則月１回発行しておりますので、ぜひclassiからご覧ください。

定期健康診断結果のお知らせ

　保護者会で担任からお渡ししています。
　裏面にも説明がありますので、併せて確認してください。
　不明な点がありましたら、保健室までお問い合わせください。

夏休み中に 治療 しよう

　受診のお勧めがありまだ受診されていない場合は、２学期に受診結果を報告いただけますようお願いします。

スクールカウンセリングご案内

担当　臨床心理士　木虎隆志先生

７月１６日
９月１０・１７・２４日
いずれも火曜日午後

対象　本校の生徒・保護者・教職員

**　夏休み明けなど生活パターンの変わり時に登校しづらさを感じることもあるようです。そんなときはカウンセラーに相談してみてはいかがでしょうか。**
**　予約をお勧めしますが、当日でも空きがあれば受付できますので、担任又は保健室にお問い合わせください。**

被害者にも加害者にもならないために

SNSで誰かが書いていた悪口の投稿を拡散しただけなのに、訴えられた。

簡単な作業で10万円。高校生でもOK！　と言われて引き受けた「闇バイト」だった。気づかないうちに、犯罪に加担してしまった。

オンラインゲームで知り合った人と意気投合し、相談にものってもらっていたら個人情報を特定され、「ばらされたくなければ裸の自撮りを送れ」と脅された。

　夏休みは自由な時間ができる分、普段とは違うトラブルに巻き込まれることがあります。自分の言動ひとつで自分を含めた誰かが傷つく可能性を想像することが大切です。
　困ったときは迷わず大人に相談を。

日本校保健研修社
「健」より

「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」
いわゆる「劇症型溶連菌」について

溶血性レンサ溶連菌は感染しても無症状なことも多く、ほとんどは咽頭炎や皮膚の発疹などにとどまります。

しかし、ごくまれに通常は細菌が存在しない筋肉や血液・肺などに溶連菌が入り込み急激に症状が進行・悪化し重篤な疾患となることがあります。これが、劇症型といわれるもので、小児が多く罹患する「Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎」いわゆる「溶連菌感染症」とは区別されます。

初期症状

四肢の疼痛、腫脹、発熱。
疼痛の開始前に発熱や悪寒、筋肉痛、下痢などのインフルエンザ様症状がみられることもある。

後発症状

発症から症状の進行が急激かつ劇的。
発症後数十時間以内に筋肉周辺組織の壊死、急性腎不全、呼吸不全、多臓器不全、ショック状態に陥ることも少なくない。

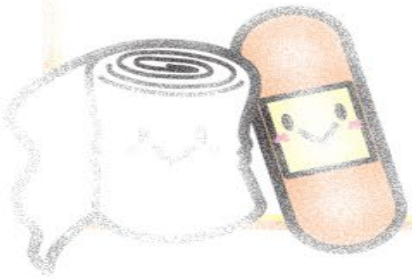
治療

集中管理のもと、抗菌剤による治療が行われる。
壊死を起こしている部分を切除し感染拡大を防ぐ。
重症化のリスクを下げるために、早期に治療を開始することが重要。

感染経路

上気道感染や創傷感染など。
感染経路が不明な場合も多い。

予防のポイント

手指衛生や咳エチケット、傷の清潔な処置など基本的な感染症対策が有効。
手足の腫脹や痛み・発熱など感染の兆候が見られたら直ちに受診。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は３０歳以上の大人に多いことが一つの特徴です。
しかし、まれに小児の感染例も報告されていますので、すべての世代で注意が必要です。